

## 歴史(江戸時代⑫・開国編)

1853年、アメリカの①\_\_\_\_\_が4隻の軍艦を率いて②\_\_\_\_\_ (神奈川県)に來航し、日本の開国をもとめた。その翌年、幕府は、ふたたび來航した③\_\_\_\_\_と④\_\_\_\_\_ 条約を結び、⑤\_\_\_\_\_ (静岡県)と⑥\_\_\_\_\_ (北海道)の2港を開いた。その後、⑦\_\_\_\_\_に着任したアメリカ総領事の⑧\_\_\_\_\_が、日本に貿易を行うように強く迫った。アメリカなどと戦争になることを恐れた幕府は、朝廷の許しを待たずに、1858年、⑨\_\_\_\_\_ 条約を結び、⑩\_\_\_\_\_、⑪\_\_\_\_\_、⑫\_\_\_\_\_、⑬\_\_\_\_\_の5港を開いて自由な貿易を行うことを認めた。しかし、この条約は、⑭\_\_\_\_\_ 権を認め、⑮\_\_\_\_\_ 権がないなど、日本にとって不平等な条約だった。その後、幕府は、オランダ、ロシア、イギリス、フランスとも同様の条約を結んだ(⑯\_\_\_\_\_ 条約)。貿易によって、日本には⑰\_\_\_\_\_ 物や武器が輸入され、日本からは、生糸や茶が輸出された。